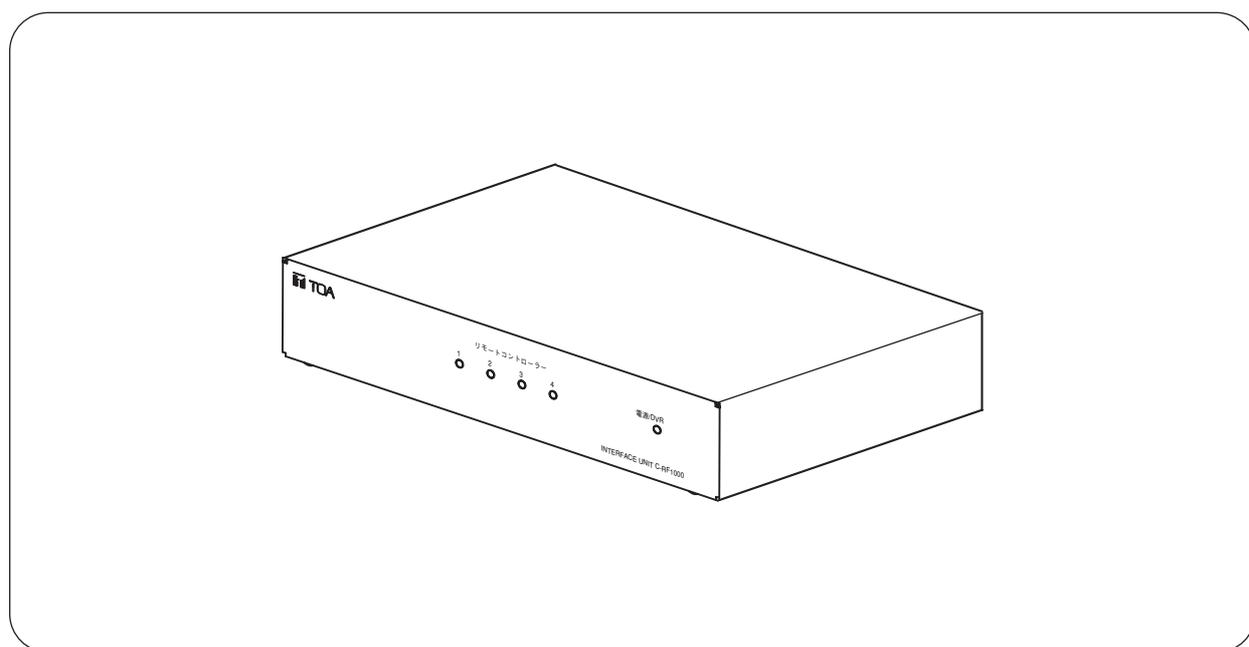


## インターフェースユニット C-RF1000



### 目次

安全上のご注意 .....	2	接続について	
概要 .....	3	リモートコントローラーや	
特長 .....	3	パソコンと接続する場合 .....	6
使用上のご注意 .....	3	デジタルレコーダーと接続する場合 .....	6
各部の名称とはたらき		設置のしかた	
前面 .....	4	ラック1台取り付けるとき .....	7
後面 .....	4	他の機器と連結して取り付けるとき .....	7
接続のしかた		仕様 .....	8
システム例 .....	5	付属品 .....	8

このたびは、TOAインターフェースユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

# 安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

## 表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

## 設置・据付をするとき

### 水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。



禁止

### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

## 使用するとき

### 万一、異常が起きたら

次の場合、本機への電源の供給を中止し、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき



電源プラグを抜く

### 内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

### 液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

### 内部に異物を入れない

本機の内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止

### 雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、制御線にはさわらないでください。

感電の原因となります。



接触禁止

### 医療機器の近くで使用しない

電磁波で医療機器に影響を与えることがあります。



禁止

## 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容  
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 設置・据付をするとき

#### 湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気  
のあたるような場所に置かないでください。  
火災・感電の原因となることがあります。



禁 止

### 使用するとき

#### 上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることが  
あります。



禁 止

#### 定期的に内部の掃除をする

内部の掃除については、販売店にご相談ください。  
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災の原因となることが  
あります。



強 制

## 概 要

本機は、リモートコントローラー C-RM1000 を 2～4 台で 9 局 / 16 局デジタルレコーダー（C-DR091/161 シリーズ、C-DV091W-6）を制御するとき使用するリモートコントローラー増設ユニットです。

## 特 長

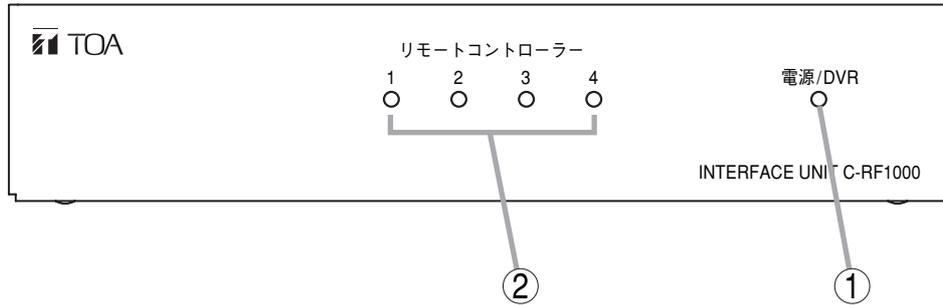
- リモートコントローラー C-RM1000 を最大で 4 台接続することができます。
- RS-232C 端子を使用してデジタルレコーダーを制御することができます。（デジタルレコーダーの RS-232C 端子と異なり、カスケード接続された複数台のデジタルレコーダーを制御できます。）

## 使用上のご注意

- 付属のモジュラーケーブルを使用してデジタルレコーダーに接続すると、デジタルレコーダーから電源が供給されます。
- DVR 制御出力端子 A (RJ-11) は、電話回線に接続しないでください。
- DVR 制御出力端子 A (RJ-11) は、過電圧が加わる恐れがあるネットワークに接続しないでください。感電、火災の原因になります。
- 複数のリモートコントローラーから同時に操作されると、操作の遅延や誤操作が発生する場合があります。そのような場合は、数秒待ってから操作してください。

# 各部の名称とはたらき

## [前面]



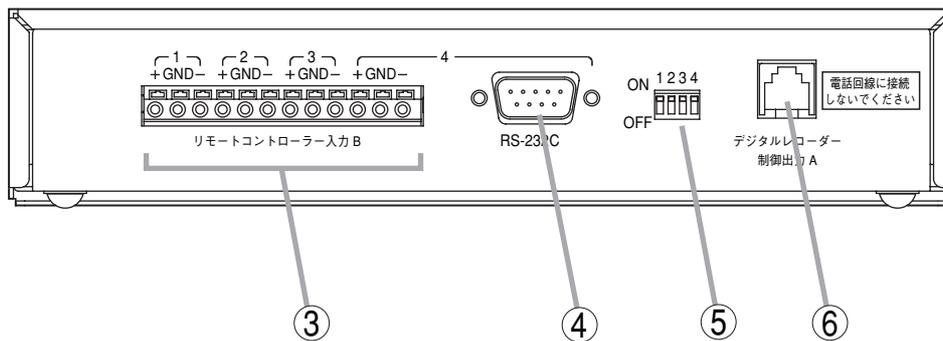
### ① 電源 LED [電源 / DVR]

デジタルレコーダーから電源が供給されると点灯します。また、デジタルレコーダーとの通信中は点滅します。

### ② リモートコントローラー通信 LED [1～4]

リモートコントローラー入力端子に信号が入力されると点滅します。4番のLEDはRS-232C端子に信号が入力された場合も点滅します。

## [後面]



### ③ リモートコントローラー入力端子 B

本機にリモートコントローラーを接続するための端子です。リモートコントローラー入力端子4はRS-232C端子と同時に使用できません。

### ④ RS-232C 端子

カスケード接続されたデジタルレコーダーをパソコンから制御するときに、パソコンのRS-232Cコネクタと接続します。この端子は、リモートコントローラー入力端子4と同時に使用できません。

### ⑤ DIP スイッチ

リモートコントローラー入力端子およびRS-232C端子の通信速度を設定します。

転送速度	DIP スイッチ	1	2	3	4
38,400 bps		ON	ON	使用しません。 工場出荷時は ON です。	
19,200 bps		ON	OFF		
9,600 bps		OFF	ON		

### ⑥ デジタルレコーダー制御出力端子 A (RJ-11)

リモートコントローラー入力端子やRS-232C端子から入力された信号をデジタルレコーダーに出力します。また、本端子をデジタルレコーダーに接続するとデジタルレコーダーから電源が供給されます。

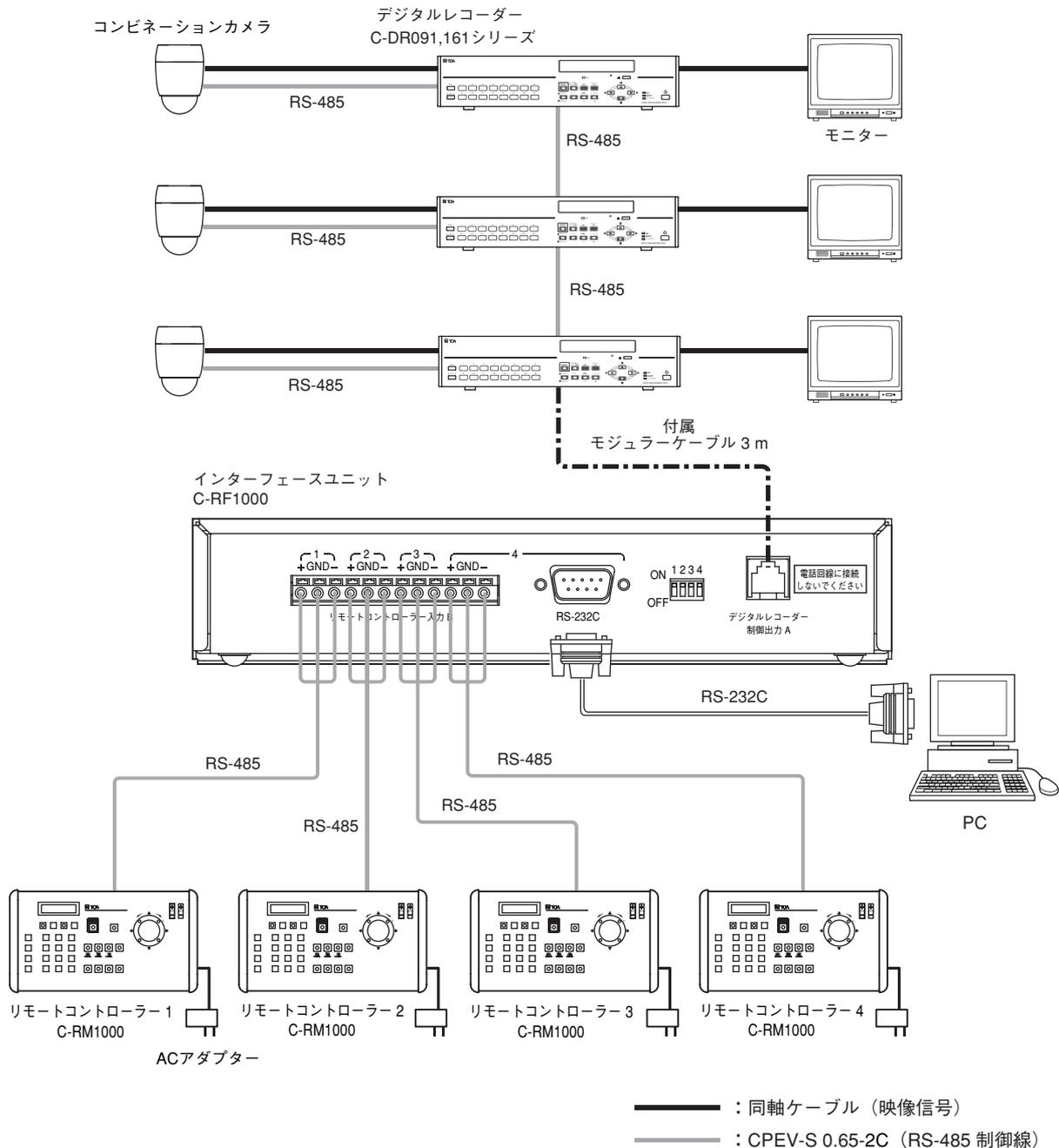
#### ご注意

本端子の通信速度は、DIPスイッチの設定にかかわらず38,400 bpsに固定されています。接続するデジタルレコーダーのリモコン通信速度を38,400 bpsに設定してください。

※ 工場出荷時の設定は、「38,400 bps」です。

# 接続のしかた

## ■ システム例

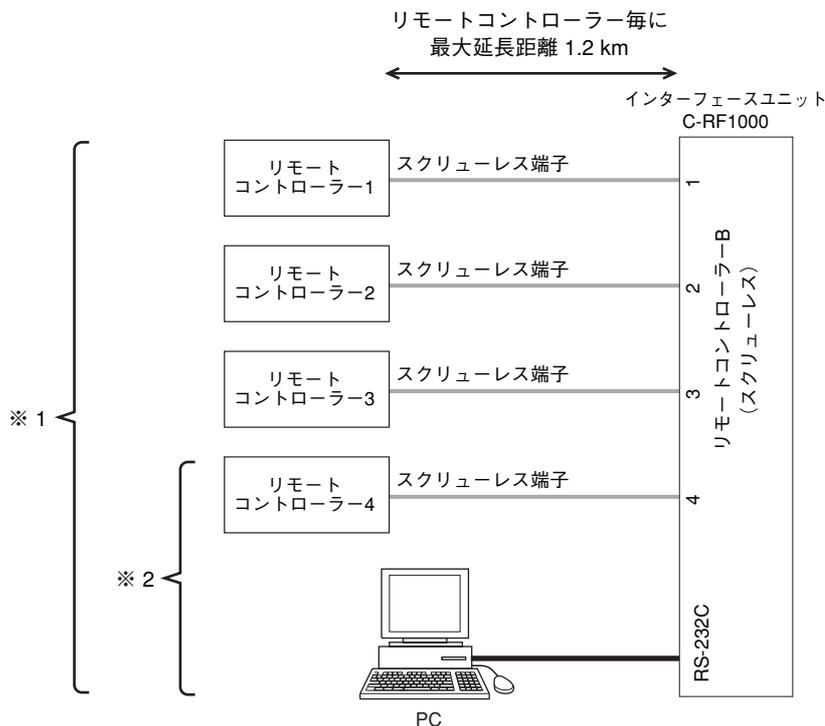


### ご注意

- RS-485 制御線には、CPEV-S (対よりシールドケーブル)  $\phi$  0.65 mm 以上を使用してください。また、シールド線は必ず「GND」端子に接続してください。
- 複数のリモートコントローラーから同時に操作されると、操作の遅延や誤操作が発生する場合があります。そのような場合は、数秒待ってから操作してください。
- インターフェースユニットのリモートコントローラー入力端子4とRS-232C端子は、同時に使用できません。どちらか一方のみ接続してください。

## ■ 接続について

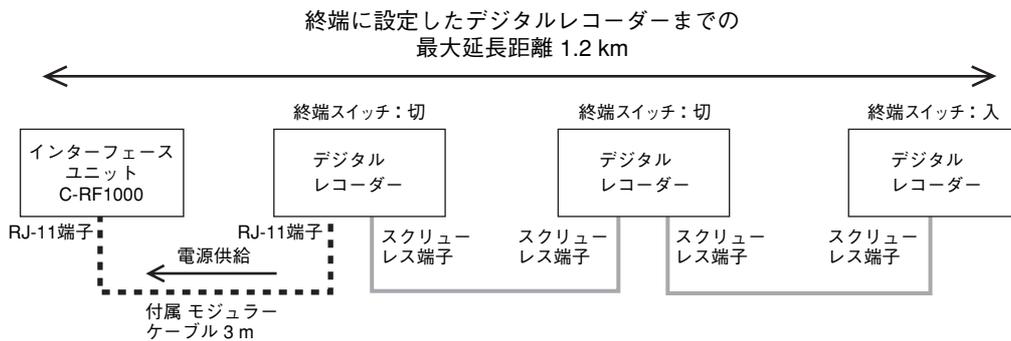
### ● リモートコントローラーやパソコンと接続する場合



#### ご注意

- ※1 インターフェースユニットに接続する機器の通信速度は、すべて一致させてください。また、インターフェースユニットのDIPスイッチも、リモートコントローラーの通信速度と一致させてください。
- ※2 インターフェースユニットのリモートコントローラー入力端子4とRS-232C端子は、同時に使用できません。どちらか一方のみ接続してください。

### ● デジタルレコーダーと接続する場合



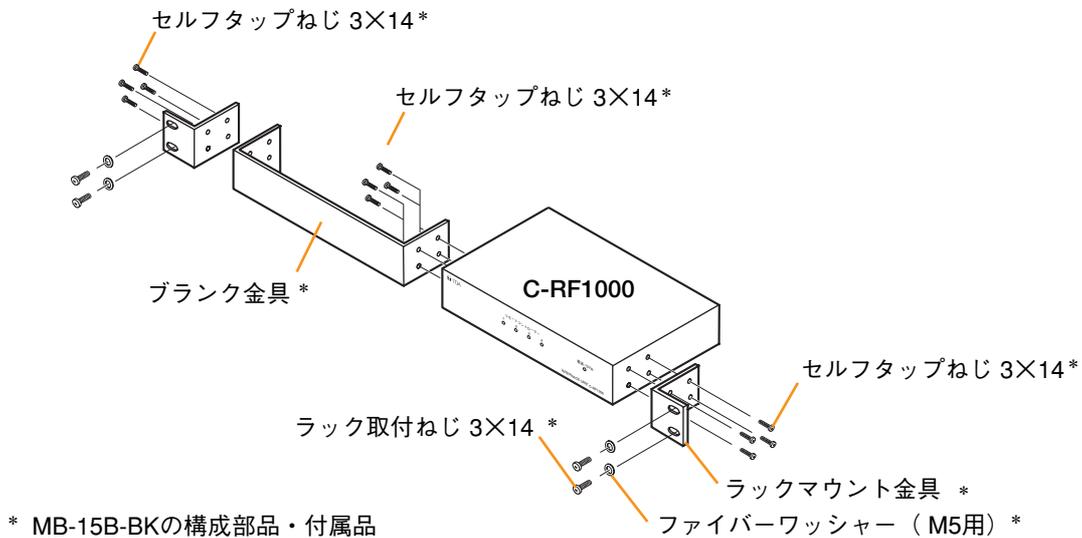
#### ご注意

インターフェースユニットとデジタルレコーダー間の通信速度は、DIPスイッチの設定にかかわらず38,400 bpsに固定されています。すべてのデジタルレコーダーのリモコン通信速度を38,400 bpsに設定してください。

# 設置のしかた

ラックに取り付けるときは別売の金具セットを使用してください。底面のゴム足を取り外して取り付けます。

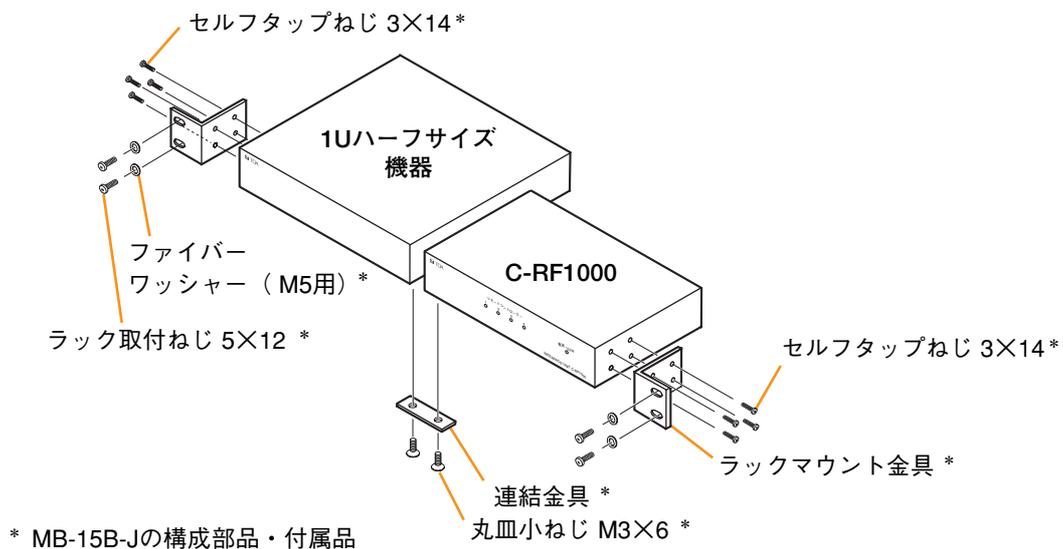
## ● ラックに1台取り付けるとき（別売金具 MB-15B-BK を使用）



## ● 他の機器と連結して取り付けるとき（別売金具 MB-15B-J を使用）

### ご注意

本機と連結して取り付けることのできる機器の重量は2 kg 以下です。2 kg を超える機器との連結はしないでください。



# 仕 様

電 源	DC12 V (デジタルレコーダーより供給)
消 費 電 流	100 mA
D V R 制 御 端 子	RS-485、RJ-11 モジュラージャック 6P6C (付属モジュラーケーブル 3 m を使用)
リモコン制御端子	RS-485 スクリューレスコネクター 3P × 4 系統
外 部 制 御 端 子	RS-232C D-sub コネクター (9 P、オス)
D I P ス イ ッ チ	通信速度切換
表 示	電源 / DVR 制御中表示、リモートコントローラー通信表示 1 ~ 4
リモコン接続数	4 台 (RS-232C 端子使用時は 3 台まで)
最大延長距離	RS-485 : 1.2 km *1、RS-232C : 10 m
使用温度範囲	0 ~ +50 °C
使用湿度範囲	90 % RH 以下 (ただし、結露しないこと)
仕 上 げ	プレコート鋼板、黒 (マンセル N1.0 近似色)、3 分艶
寸 法	210 (W) × 44 (H) × 98.8 (D) mm
質 量	700 g
適 合 機 種	デジタルレコーダー : C-DR091 / C-DR161 シリーズ、C-DV091W-6 リモートコントローラー : C-RM1000

\*1 本機とデジタルレコーダーがそれぞれ 1 対 1 のシステムの場合  
(1 つのシステムに複数台のデジタルレコーダーがあるときは、システム間の接続距離の合計)

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ● 付属品

モジュラーケーブル (3 m) ..... 1

## ● 別売品

ラックマウント金具 : MB-15B-BK (1 台ラックマウントする場合)  
MB-15B-J (他の機器と連結してラックマウントする場合)



商品の価格、在庫、修理およびカタログのご請求については、取扱店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOA インフォメーションセンター  
商品や技術など、お問い合わせにお応えします。  
受付時間 9:00 ~ 17:00 (日曜・祝日除く)

フリーダイヤル (無料電話)  
TEL. 0120-108-117  
〒665-0043 宝塚市高松町 2 番 1 号  
TEL. (0797) 72-7567  
FAX. (0797) 72-1090